



留学生と分かち合う

第4弾

豊平教会特集

金曜ランチ通信

◆いつも「金曜ランチ」の分かち合いの働きに、ご協力いただきありがとうございます。すっかり秋らしくなってきたこの頃ですが、皆さんの献金と献品のお支えで、この夏も多くの留学生や生活困窮されている方々にお弁当や支援助物資をお渡しする事ができ感謝しています。今現在は9月いっぱいまで留学生は大学が夏休みの為、日本の方を中心に35食ほどの利用となっています。

◆この「金曜ランチ通信」第4弾では、同じお弁当配布の活動をしている豊平教会の働きについてご紹介したいと思います。昨夏、私達は豊平教会のお弁当配布から独立しましたが、豊平教会の活動は更に広がりを見せ、今では豊平教会、札幌バプテスト教会、大通、すすきのでのお弁当の配食に加え、高齢や障がいによってお弁当を受け取りに来られない方のための配達も行っており、その総数は今では約220食強となっています。

◆ボランティアは豊平教会信徒以外にも琴似教会、札幌バプテスト教会の方々も加わっていますが、この活動の何よりの特徴は市民ボランティアが数多くおられ、年代も性別も実に様々で、夏休みには北星高校や光星高校からの学生さんたちのボランティアがあったり、毎週小樽からお手伝いに来てくれている人もいます。食材もフードバンク、個人、活動を知って賛同し協力してくれる企業で成り立っており、それ故に「フードロスは一切しない。与えられている食材でお弁当のおかずを作ることになっている」と豊平教会牧師の稲生先生は仰います。



豊平教会の厨房

◆しかしながら、毎週約220食分のお弁当を作りバック詰めするのは簡単なことではありません。毎週木曜日の午前10時、豊平教会に7名程の調理ボランティアが集まり、4~5時間を費やして6品220食分のおかずを作ります。どんなおかずを作るかは指示が出されていますが、調理場はどんどん進化しているとはいえ、広さは当教会の半分くらいしかありません。スペースを譲り合いながらの作業です。完成したおかずはそれぞれバットに移し、粗熱を取った上で冷蔵庫で保存します。

◆毎週金曜日のバック詰めには毎回10~12名が集まります。今回取材に訪れた時は、夏休み中の光星高校の学生さん5名がボランティアをしに来てくれました。作業としては前日調理されたおかずをバック詰めしていくのですが、こちらも相当根気のいる作業です。おかずの彩や配置も考えます。一度に220個全てをバック詰めするのではなく、第一弾（大通）、第二弾（札幌



光星高校のボランティアの皆さんのバックアップ作業風景

バプテスト)、第三弾（すすきの）と順次配食場所に運ばれて行くので、それに合わせて作業を進め、合間にスタッフは各々「まかない」を食します。また、この「まかない」が絶品で、毎週共にボランティアをしている黒岩静枝さん（通称：スージー）というプロのジャズシンガーの方が作ってくださっています。

◆私達の「金曜ランチ」は正午と同時に皆さんにお弁当をお渡ししていますが、豊平教会ではお昼12時半からのお渡しで、利用される方は路上生活の方、一人暮らしの高齢者、大学生と多岐にわたり、豊平教会だけで約90食~100食をお渡しします。

◆利用者もボランティアも様々な方がいる中、私（山岡）は8月某日に豊平教会を訪れ、市民ボランティアのリーダーである平部健吉さんにお話を伺いました。平部さんは神戸出身の方で、7年程前に札幌に移住されました。昼に働きながらジャズシンガーとしても活躍されている方です。平部さんに会って間もない頃、「週休二日はいらないから、一日は人のために働こうと思った」と豊平教会でのボランティアを始めたきっかけを語ってくださったことがあり、その言葉に衝撃

を受けた私でした。

◆平部さんとの一問一答

— この活動を始めて何年目ですか？

平部（以下 平）今年の10月で3年目になります。

— 利用者さんとのコミュニケーションで独自のものはありますか？

平 お一人おひとりに必ず「お待ちしていました」と「一週間元気でね」と声かけするように心がけています。

— 共にボランティアをする仲間と尊敬というか「この人は凄い」と思った方はいますか？

平 うーん…豊平教会の秋葉康子さん（このお弁当配食の総合リーダー）でしょうかねえ。とにかくアイデアマンで、教会の裏の畑を使ってお弁当の食材を調達しようと提案してくれたのも秋葉さんですからね。行動力もとてもあります。

今も稲生先生も含めて、手掘りの井戸を掘ろうとか太陽光発電を導入して電気を売って資金にしようとか、実現するかどうかは別にしようというアイデアを出し合って笑ってます。

— 今後、250とか300とか、弁当数が増えても大丈夫ですか？

平 木曜の調理の問題もありますが、現在の6～7品から品数が減って、極端な話、梅干し一個入った弁当になっても続けることが大事だと思っています。豊平の良いところは「今あるもので、今できることを」という柔軟性で、だからこそいろんな人の力が集まっているのだと思います。無理しないことが大切です。

— 平部さん自身、今後もこの活動を続けていくおつもりですか？

平 役割がある限りは続けていきたいと思っています。

— 貴重なお話をありがとうございました。

◆私たち「金曜ランチ」も、今では生活に困難を抱えている日本人の利用者が増えています。留学生も含め、利用して下さる方々に「お待ちしていました！」と声を掛けられる者でありたいと願っています。



平部健吉さんと



豊平教会でのお弁当配布風景

献品のお願い

引き続き現金カンパの他、日用品（洗濯用洗剤、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、指定ゴミ袋、石鹸等）、各種缶詰、カップラーメン、個別包装のお菓子などの献品を歓迎します。

※プラスチックのスプーン・個別包装の割りばしなどが不足してきましたので、ご家庭に眠っている物がありましたらご提供ください。

ボランティア募集

- ・毎週金曜日 ①午前11時～午後1時（お弁当準備、お渡し）
②正午～午後1時（お弁当等のお渡し）
③<第3金曜日のみ>午前10時～正午（チキンライスの準備と調理）
- 一回だけでも、短時間だけでもOKです。体験ボランティアも歓迎いたします。

◆また、豊平教会でも調理ボランティアを随時募集しています。毎週木曜の午前10時～ですが、シフト制なので自分の都合の良い時にボランティアをすることができます。
豊平教会は地下鉄東豊線「学園前」駅より徒歩5分の場所にあります。詳細は山岡まで。



日本聖公会 札幌キリスト教会

〒060-0808 札幌市北区北8条西6丁目2-18

TEL 011-737-7834 FAX 011-716-6345

HP <http://nssk-org/hokkaido/sapporo-christ/>